

受検番号
氏名

注 意

一 問題は、表と裏にあります。
二 答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

表 小 計

合 計

三 「徒然草」の二つの文章を読んで、1～6の問いに答えなさい。

城陸奥守泰盛は、さうなき馬乗りなりけり。馬を引き出させけるに、足をそろへて関をゆらりと越ゆるを見ては、「是は勇める馬なり」とて、鞍を置きかへさせけり。また、足を伸べて関に蹴当てぬれば、「是は鈍くして、あやまちあるべし」とて、乗らざりけり。道を知らざらん人、かばかり恐れなんや。 (第百八十五段)

【注】*さうなき……並ぶ者のない *関……戸の敷居

吉田と申す馬乗りの申し侍りしは、「馬ごとにこはきものなり。人の力、あらそふべからずと知るべし。乗るべき馬をば、まづよく見て、強き所、弱き所を知るべし。次に、轡・鞍の具に危き事やあると見て、心にかかる事あらば、その馬を馳すべからず。この用意を忘れざるを馬乗りとは申すなり。これ、秘蔵の事なり」と申しき。 (第百八十六段)

【注】*こはき……手ぐわい *轡……馬の口にかませる器具
*秘蔵……乗馬の秘訣

1 さうなき を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

2 勇める馬 の本文中における意味として適するものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 改めるべき欠点のある馬 イ 勇敢な行動ができる馬
ウ 乗るのに勇気のいる馬 エ 気が立っている馬

3 乗らざりけり とほぼ同じ意味で用いられている箇所を、この段から十字で抜き書きしなさい。

4 人の力、あらそふべからず の口語訳として適するものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 人間の力は馬と張り合うことができない
イ 人間の力は馬は張り合うことができない
ウ 人間同士で馬術の力量を競い合うべきではない
エ 人間の力を馬の競い合いに用いるべきではない

--

5 見て と 見て はそれぞれ内容が異なっている。Ⅰ・Ⅱの組み合わせとして適するものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア Ⅰ 検索・Ⅱ 試行 イ Ⅰ 点検・Ⅱ 検索
ウ Ⅰ 観察・Ⅱ 点検 エ Ⅰ 試行・Ⅱ 観察

--

6 次の文は、二つの文章に登場する「馬乗り」について、その共通点を解説したものである。(a)～(c)に、適する語をそれぞれ漢字二字で書きなさい。

「馬乗り」の達人とは、事前に馬の様子などに対して、細心の(a)を払い、無理や(b)をおかさない、(c)な態度を身につけている人のことである。

a	-----	b	-----	c	-----
---	-------	---	-------	---	-------